

YOGA WORKS

いつも一緒に歩いていく

yoga works

インストラクターなら一度は触れ 信頼している日本初のヨガブランド

vol.3

老舗ブランドとして知られる『ヨガワークス』。

そのプロダクトは、ヨガを学ぶ人達やインストラクターに愛用され続け、近年の日本のヨガシーンを支える存在となっている。

キーワードからヨガワークスを探るシリーズ第3弾では、代表を務める綿本哲氏が、「安定感」について語る。

写真=市田智之／葛西亜理沙 モデル=シュミツ茂仁香 構成・文=岩崎裕司

日本初・東京発のヨガブランド

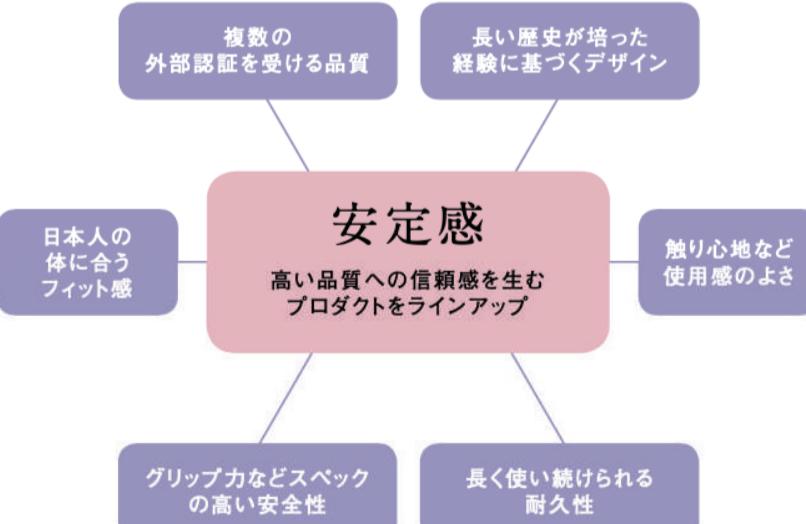
ヨガマットやプロップスは、クオリティに優れたものを選びたい。安全性や耐久性はもちろん、使い勝手に影響を与えるグリップ力やフィット感、厚さや軟らかさなど、アライメントの整ったポーズを取るために必要なスペックに目を向けることが重要だ。

日本初・東京発のヨガブランドであるヨガワークスは、2003年にスタート。ヨガスタジオはもちろんのこと、さまざまなヨガの現場で目に見る、最もよく知られたブランドの一つだ。インストラクターとして活躍する人の中には、初めて触れたヨガマットも現在使っているヨガマットも、ずっとヨガワークスひと筋というケースも少なくない。ヨガの知識やスキルが高まっていくと、ヨガワークスのプロダクトの品質や設計思想の奥深さに改めて気づかされるからだろう。

単にプロダクトを作るのではなく、そのプロダクトが使う人をどう変えていくのか、その人は周囲にどんな影響を与えていくのか。いわば、ヨガの考え方に基づいて、もの作りをしている事実がわかるのだ。

ヨガワークスのブランド背景を探る連載の第3弾は、「安定感」と品質について触れる。

ヨガを支える「安定感」とは?



日本初のヨガブランドとして、長年にわたるもの作りで
培った技術と経験を生かし、日本人の体に合うプロダク
トを企画開発。初めて使った時からヨガの向上をサポー
トし続ける「クオリティの高さ」、「プロダクトのライン
アップ」は、多くのインストラクターの信頼を得ている。



「ヨガの考え方に基づいて
誰もが安心できるクオリティと
長く使い続けられる安定感を目指しています」

ヨガワークスを立ち上げて以来、私は理想のヨガマットを追究し続けてきました。ヨガマットには、その特徴や機能を左右する数多くの要素があり、始めたばかりの初心者と経験を積んだインストラクターとは、求める特性も異なってきます。

私は、使い勝手のよさに加えて、性とも言えます。

私は、使い勝手のよさに加えて、スタジオで指導するインストラクターの姿や、そのシチュエーションを想像しながら開発を進めてきました。

一枚のヨガマットから何が生まれ、周囲にどんな影響をもたらしていくのか。いわば、ヨガの考え方に基づいて取り組んできたのです。究極の逸品として世に出した「プラネットサダナ」と「ザブラックマット」

は、始めたばかりの初心者と経験を積んだインストラクターとの間で、安全性を第一に考えるべきである」と。サンプルとして作った試作品を、第三者機関の研究施設で検査してもらつたのも、そうした理由からです。そして、安全性をクリアしていると判断できたものだけを商品化するようにしています。

モノとしての使い勝手を
ヨガの考え方に基づいて開発

素材選びや加工方法は、使い勝手のよさを大きく左右します。例えば、いわゆるポーズをホールドする時、ここで大切なのは、床に対する斜め方向に力が加わってもズレないグリップ力と、足裏やヒザがブレない硬さです。ただ、硬さとグリップ力は相反しやすい要素なので、そのバランスをどう取るべきなのかを考えな



PLANET SADHANA 4.2mm¥13,750

ドイツ製の機能美に運びやすさをプラスしたヨガマット。硬めの表面は、使い込むほどに手足に馴染む。幅広・長めのサイズで男性にも愛用者が多い。



THE BLACK MAT 7mm¥17,600

10年以上にわたって使える、「一生モノ」のヨガマットとして知られるドイツ製のロングセラー。7mmという厚さと重量感がヨガのプラティスを安定させる。

column

インストラクターが明かす ヨガワークスの魅力

インドにいたころから、いろいろなヨガマットを使ってきました。ヨガワークスのヨガマットは、10年前にお土産でいただき、その時初めて触れました。その後来日してから、ヨガワークスが日本のブランドであることを知りました。今でも、そのヨガマットを愛用しています。特にメンテナンスをしてきたわけでもないのに、汗で濡れたりしても、まったくへたらない。だから、生徒さんにも自信を持って勧められるんです。

10年前から
ずっと
使ってます



タルーン/Tarun Shekhar Jha

インド北部出身。実家が寺院という環境で生まれ育ち、幼少期からヨガが根付いた生活を送る。2014年に来日。雑誌、広告、CMなどの媒体で俳優・モデルとして活躍する傍ら、ヨガインストラクターとしても活動を開始。日本語で指導できるインド人講師として人気を博す。

インド時代から
使ってきたヨガ
ワークスのヨガ
マット(私物)。

実際の商品開発に当たっては、高い耐久性に加え、男性でも使える幅広・長めの大きさ、どっしりした厚みと重量感、やや硬めながらもしっかりしたグリップ力、落ち着きある深い発色のカラーにこだわりました。

多くの人達にとつても、ヨガを深め

生徒さん達を始め、ヨガにかかる費用の質と向上を、陰ながら支えているのです。そして、指導を仰ぐ

多くの人達にとつても、ヨガを深め

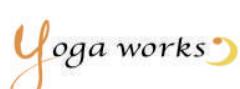
profile



綿本哲

わたもとさとし。『ヨガワークス』代表。大学卒業後、宇宙開発事業に従事。その後ヨガ教室の経営に携わり、各地でヨガの指導を行う。ヨガの考え方をビジネスに活用する経営コンサルティング会社でITベンチャー系を中心に事業展開。2003年、『ヨガワークス』設立。2004年、ケンハラクマ先生、綿本彰とともに「ヨガフェスタ」を始動。現在に至る。

Information



www.yogaworks.co.jp



Follow us!
[@yogaworkscojp](https://twitter.com/yogaworkscojp)

